

開講年度	令和6年度	開講課程	博士後期課程
授業名	Advanced Academic English		
開講キャンパス	紀三井寺・伏虎	教室	基礎教育棟3階講義室3 中講義室303
科目区分	ベーシック科目	配当年次	1年次
必修・選択の別	必修	単位	1単位
対象学生	—	使用言語	日本語・英語
キーワード	Reading、Composition、Grammar、Writing		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	教授 廣田麻子	
	薬	准教授 辻早代加、 <u>准教授 朱 姝</u>	
授業の概要	医療系の英語論文の読み方や発展的な文法知識、英語論文を執筆する際のルール、学会等でのプレゼン方法などについて学び、国際的活躍の基盤となる英語論文による発信方法を修得する。		
到達目標	<input type="checkbox"/> 国際的活躍の基盤となる英語論文による受信・発信方法及びその際に用いられる文法知識を修得する。 <input type="checkbox"/> 明瞭かつ簡潔なメディカルライティングの基礎について修得する。		
授業計画	<p>1. 2. 明瞭かつ簡潔なメディカルライティング基礎 (廣田麻子/2回) 【10/4 6限・7限】 ※Benjamin Phillis英文エディターによる講義 論文執筆者が犯しやすいスペル・文法・語法の誤りを解説する。医療系論文執筆の基礎と医療系雑誌の「決まりごと」に沿った英語について解説する。</p> <p>3. 4. 英語論文の読み方 (廣田麻子/2回) 【10/11 6限・7限】 医療系論文の読み方を教授する。</p> <p>5. 6. 英語論文における発展的な文法知識の修得 (辻 早代加/2回) 【10/18 6限・7限】 英語論文における発展的な文法知識を修得する。</p> <p>7. 8. 英語論文の書き方 (朱 姝/2回) 【10/25 6限・7限】 英語論文の書き方について解説する。</p>		
授業の方法・形態	講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。		
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。		
成績評価の基準	授業への取組20% (発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢) 及びレポート80%によりS (90点以上)、A (80~89点)、B (70~79点)、C (60~69点)、D (59点以下) の5段階で評価し、C以上を合格とする。		
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。		
オフィスアワー (学生からの質問事項等への対応)	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。		
教科書・参考書	【教科書】 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】 授業計画1~4 「講義録医学英語Ⅱ：科学英語への扉」 編集：Nell L. Kennedy 菱田 治子 出版社：Medical View		